



学校再開から一ヶ月が経過し、関西は昨年より17日早い梅雨入りとなりました。陽ざしは少なく、灼けるような暑さではありませんが、マスクをつけて活動するため、換気や室温の管理、水分補給など、感染対策をしながらも、熱中症に注意するよう心がけています。

6月以降は各学校の下校時刻が変則的で、お迎え時刻が集中することが多く、3台の送迎車がフル稼働でお迎えに巡回しています。デイで過ごす時間が短くなるため、お誕生日会や各プログラムも、短時間でも充実した時間を過ごしてもらえよう、工夫しています。また、お送り時刻も休校時より遅くなり、ご自宅に到着したら寝てしまっている子もいましたが、それぞれ少しずつ新しい生活に慣れてこられているようです。



さて、今年は夏休み期間が学校・学年によって異なるため、例年の夏休みよりも朝から開所の日が少なくなります。おでかけの実施を控えますが、朝から開所の日はいつもの少し時間のかかる料理や工作、おたのしみ会などを計画しています。今号では6月の活動の様子を振り返ります。どうぞお楽しみください

6月のお誕生日会



6月25日(木)に、6月のお誕生日会を開催しました。6月生まれのお友達4名のうち、2名が参加できました。紹介曲は、「ど根性ガエル」と「鬼滅の刃」のテーマソングでした。うちわでろうそくを消して、ケーキでお祝いのあとは、



主役ふたりが得意なこと、れいんぼーでの体験などのクイズで、これまであまり関わる機会がなかった子も、その子を知ることができました。「ボール落としゲーム」は、段ボールを広げていくつか穴をあけ、目的の穴にボールを落とすまでの時間を測るチーム戦です。



新一年生も頑張って参加し、大きな紙で対面の距離も保ちながら、歓声が響きわたりました。放課後の短時間での開催は慌ただしかったのですが、終わってから「今日はすごく楽しかった」と言って貰えて、これからも思い出に残るお誕生日会にしたいとあらためて感じました。

6月の活動プログラムより

学校が再開し、利用時間が短くなったことで遊ぶ時間が減り、宿題習慣を取り戻すのに少し時間がかかりましたが、ひとりひとりと会話を重ね、時間の約束をするなどで、徐々に宿題をするペースを取り戻しています。

工作プログラムでは、ゴムゴム自動車を作りました。プラカップ、輪ゴム、割り箸、ビーズなどを使って、ゴムぜんまいで動く





れいんぼー



おもちゃを作りました。作り方が簡単で、学年を問わずに作れるおもちゃづくりに、みんな熱心に取り組みました。

料理プログラムは、豆腐チップスとオリジナルアイスを作りました。豆腐チップスは、水切りした豆腐を薄くスライスし、電子レンジで乾燥させて、塩や青のりを絡めていただきました。子ども用の包丁の使い方を習い、柔らかい豆腐を薄めにスライスするのが少し難しいですが、真剣な顔で取り組みました。豆腐が苦手な子も、チップスになると食べやすいようでした。大人のおつまみにもおすすめです。オリジナルアイスは、コールドストーンアイス屋さんのイメージで、クッキーなどの好きな食材をつぶして、バニラやチョコのアイスに手早く混ぜ、カップコーンに詰めて頂きました。アイスが溶けないうちに、混ぜて詰めるスピードが大切ですが、みんな大好きなアイスに大満足でした。

英語プログラムは、動物の鳴き声の日本語と英語を比べて、絵カードに合わせて英語での鳴き声を言う遊びを体験しました。

運動プログラム・ゲーム大会は、距離を取りながら身体を動かせる遊びを中心に実施しました。カーテンの仕切りの両側で相手の考えた色を当てるテレバシーゲームの他、体格差に合わせて距離や高さを調整したバスケットゴールシュートでは、体幹や瞬発力、ボールをコントロールする技術を使いました。ハンカチ落としやだるまさんがころんだ、白黒ひっくり返しゲームなど、短距離を走る、止まる、しゃがむ、など、室内の単純なあそびの中でも身体を使い、協調性を養う機会をつくりました。

音楽プログラムは、オタマトーンの演奏をみんなで楽しみました。特に新一年生は初めての体験で、楽器をどのように触るとどんな音が出るかを面白そうに楽しんでいました。

自由あそびの時間には、誘い合って将棋やチェスをしたり、レゴで街づくりをしたり、おもちゃをアレンジしたり、他の子と関わりながらの遊びがたくさんできました。

